

## 『アレルギー性鼻炎の治療』

アレルギー性鼻炎は鼻漏、鼻閉、くしゃみを3大症状とする疾患です。この10年で日本人の有病率は約30%から約40%へと増加傾向をたどっています。アレルギー性鼻炎は年中症状のある通年性、一時期のみ症状のある季節性に分類されます。季節性アレルギー性鼻炎

は花粉症とほぼ同じ意味合いです。函館では4月上旬はスギ花粉、5月はシラカバ花粉が主に飛散しており、その時期の症状の原因となっている可能性が高いです。スギ花粉は日本における花粉症の原

因の筆頭ですが、北海道ではその飛散地域は限定的でほぼ道南のみとなっております。根本的な治療は難しいですが、適切な治療で症状を軽くすることが期待できます。代表的な治療として内服薬と点鼻薬があります。症状の軽い方ならばどちらか単独、重い方ならば複数の薬剤の併用や内服薬と点鼻薬の併用とする場合が多いです。症状の出る時期が分かっている方は早めに薬剤の使用を開始しておく、症状が出

てから治療するよりも軽い症状で済むことが多いです。また、特に点鼻ステロイド薬は継続投与することにより高い治療効果が期待できます。点鼻ステロイド薬は内服薬に比べ効きがやや遅いこと、症状の無い時期でも鼻粘膜では炎症が持続しており、それを抑えることがポイントです。病院で点鼻薬を処方されたけれども効かないので数回でやめてしまった、または調子の悪い時だけ使っているけれども効果が実感できないという方は継続投与してみることをお勧めします。加えて、そういった保存的治療の効果が低い方は手術治療が適応となる場合もあります。体質や症状、ニーズに合わせて治療内容は異なってきますので、主治医の先生と相談してみてください。



函館中央病院

赤澤 茂 耳鼻咽喉科医長

平成15年、北海道大学医学部医学科卒業、北海道大学病院勤務。平成16年～平成21年の間に函館中央病院、市立釧路総合病院、北海道大学病院に勤め、平成23年、函館中央病院耳鼻咽喉科医長に就任。日本耳鼻咽喉科学会認定専門医。



## 函館中央病院

函館市本町33-2  
☎0138-52-1231(代)  
<http://www.chubyou.com/>

診療科目／内科・消化器内科・循環器内科  
眼科、小児科、外科、整形外科  
形成外科、脳神経外科など  
全17科目

受付時間／9:00～11:30・14:00～16:00  
※土曜は午前のみ。  
科や時間帯によっては要予約。  
休診日／日曜・祝日